

◎ 指示があるまで開かないこと。

(平成23年2月17日 13時55分～15時00分)

注意事項

1. 試験問題の数は50問で解答時間は正味1時間5分である。
2. 解答方法は次のとおりである。

各問題には1から4までの4つの選択肢、もしくは1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)、(例2)では1つ、(例3)では2つ選び答案用紙に記入すること。

なお、(例1)、(例2)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。(例3)の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

(例1)

101 助産業務が行えるのはどれか。

1. 合格発表日以降
2. 合格証書受領日以降
3. 助産師籍登録日以降
4. 免許証受領日以降

正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

| 答案用紙①の場合、 | | | | | 答案用紙②の場合、 | | | | |
|-----------|---|---|---|---|-----------|-----|---|---|---|
| 101 | ① | ② | ③ | ④ | 101 | 101 | ① | ① | |
| | | | ↓ | | | | ② | ② | |
| 101 | ① | ② | ● | ④ | | | ③ | ● | → |
| | | | | | | | ④ | ④ | |

(例2)

102 助産師国家試験の受験資格が規定されているのはどれか。

1. 医療法
2. 学校教育法
3. 母子保健法
4. 保健師助産師看護師法
5. 看護師等の人材確保の促進に関する法律

正解は「4」であるから答案用紙の④をマークすればよい。

| | | | | | | | | | | |
|-----------|---|---|---|---|-----------|-----|-----|---|-----|--|
| 答案用紙①の場合、 | | | | | 答案用紙②の場合、 | | | | | |
| 102 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | 102 | 102 | ① | ① | |
| | | | ↓ | | | ① | | ② | ② | |
| 102 | ① | ② | ③ | ● | ⑤ | ② | | ③ | → ③ | |
| | | | | | | ③ | | ④ | ● | |
| | | | | | | ④ | | ⑤ | ⑤ | |
| | | | | | | ⑤ | | | | |

(例3)

103 助産師籍に登録されるのはどれか。2つ選べ。

1. 生年月日
2. 受験年月日
3. 卒業年月日
4. 就業年月日
5. 登録年月日

正解は「1」と「5」であるから答案用紙の①と⑤をマークすればよい。

| | | | | | | | | | | |
|-----------|---|---|---|---|-----------|-----|-----|---|-----|--|
| 答案用紙①の場合、 | | | | | 答案用紙②の場合、 | | | | | |
| 103 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | 103 | 103 | ① | ● | |
| | | | ↓ | | | ① | | ② | ② | |
| 103 | ● | ② | ③ | ④ | ● | ② | | ③ | → ③ | |
| | | | | | | ③ | | ④ | ④ | |
| | | | | | | ④ | | ⑤ | ● | |
| | | | | | | ⑤ | | | | |

- 1 「助産師の声明」による「助産師の倫理綱領」で正しいのはどれか。
 1. 助産師自身が安心できるケアを提供する。
 2. 女性自らが意思を表明できるように援助する。
 3. 女性の情報を他の保健医療従事者と積極的に共有する。
 4. 助産師は免許取得時の助産師業務基準を遵守し続ける。

- 2 勃起障害について正しいのはどれか。
 1. 心理的要因により起こることはない。
 2. 原因で最も多いのは抗うつ薬の副作用である。
 3. 性交時に十分な勃起が起こらないことをいう。
 4. 治療薬としてメチルテストステロンが使われる。

- 3 薬物と静脈内注射した場合の副作用との組合せで正しいのはどれか。
 1. エルゴメトリンマレイン酸塩 ————— 血圧低下
 2. プロスタグランジン F_{2α} ————— 便秘
 3. 硫酸マグネシウム ————— 下痢
 4. リトドリン塩酸塩 ————— 高血糖

4 ある常染色体劣性遺伝疾患の原因遺伝子を持つ保因者の一般人口に占める割合が $1/50$ (2%) であると仮定する。

この疾患の一般人口における発症率で推定されるのはどれか。

1. $1/100$ (1%)
2. $1/200$ (0.5%)
3. $1/2,500$ (0.04%)
4. $1/10,000$ (0.01%)

5 思春期女子の月経困難症で正しいのはどれか。

1. 機能性月経困難症は鎮痛薬が有効なことが多い。
2. 機能性月経困難症は初経直後から始まることが多い。
3. 器質性月経困難症の方が機能性月経困難症よりも多い。
4. 器質性月経困難症はカウンセリングが有効なことが多い。

6 正常新生児の特徴で正しいのはどれか。

1. 視力は 0.2 相当である。
2. 呼吸は鼻呼吸が主体である。
3. 塩味の濃淡の識別ができる。
4. 眼球運動は上方視から発達する。

- 7 梅毒に感染した妊婦で正しいのはどれか。
1. 約 80 % は流産する。
 2. 感染者の半数以上が不顕性感染である。
 3. 血液反応が陰性化するまで治療を行う。
 4. 母から児への感染は主に経産道感染である。
- 8 外出血は少ないが出血性ショックに至る可能性があるのはどれか。
1. 前置胎盤
 2. 産道裂傷
 3. 後腹膜血腫
 4. 子宮内反症
- 9 産褥 20 日の褥婦。「子どもが右側の乳頭ばかりを吸うので、左側の乳汁分泌が悪くなった」と話す。
- 関係するメカニズムはどれか。
1. オートクリンコントロール
 2. エンドクリンコントロール
 3. 腺房細胞の分泌細胞への分化
 4. エストロゲンによる乳管系の増殖

- 10 乳幼児の髄膜炎の原因となる病原体でワクチン利用ができないのはどれか。
1. 肺炎球菌
 2. ムンプスウイルス
 3. インフルエンザ桿菌
 4. B 群溶血性レンサ球菌 (GBS)
- 11 妊娠 36 週の妊婦で異常なデータはどれか。
1. 血小板数 13 万/ μ l
 2. 白血球数 10,000/ μ l
 3. 児頭大横径 (BPD) 90 mm
 4. 羊水インデックス (AFI) 4 cm
- 12 妊娠のためには不妊治療が必要と医師から説明された女性への支援で適切なのはどれか。
1. 不妊治療を受けるよう促す。
 2. 妊娠への期待が高まるよう励ます。
 3. 不妊治療に関する助産師の価値観を伝える。
 4. 現状をどのように受けとめているかを確認する。

13 妊婦の健康診査で正常な所見はどれか。

1. 妊娠 32 週、推定児体重 1,500 g。
2. 妊娠 34 週、触診で児頭を子宮底に触れる。
3. 妊娠 36 週、ザイツ法陽性。
4. 妊娠 38 週、子宮口 3 cm 開大。

14 33 歳の初産婦。妊娠 30 週 3 日。立ち仕事の多い販売店に勤務している。妊婦健康診査で血圧 142/76 mmHg、尿蛋白(±)、Hb 10.0 g/dl、下肢の浮腫を認めた。「おなかには張らないけど疲れる」と言う。

この妊婦への保健指導で適切なのはどれか。

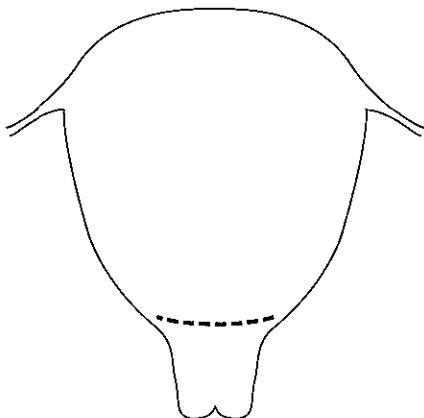
1. マタニティビクスを勧める。
2. 水分摂取を控えるよう指導する。
3. 1 日の塩分摂取を 6 g 以下に抑えるよう指導する。
4. 現在よりも軽作業の業務への変更を上司に要望するよう勧める。

15 前回帝王切開の子宮筋層の切開創の模式図を示す。

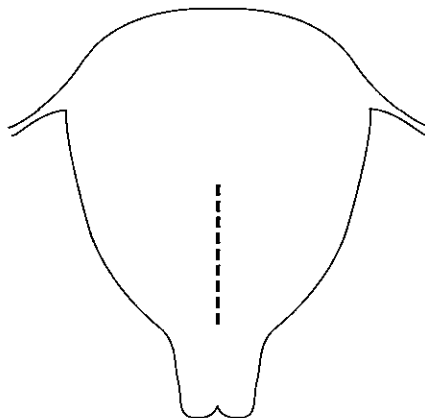
子宮破裂のリスクが低いのはどれか。

ただし、破線は切開創を表す。

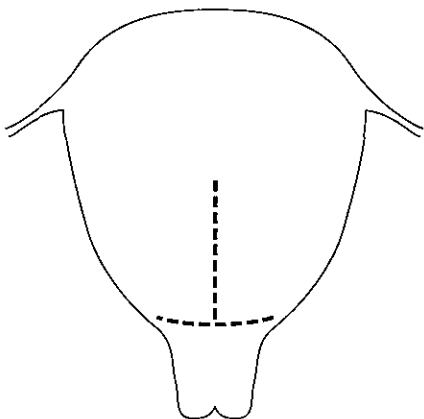
1.



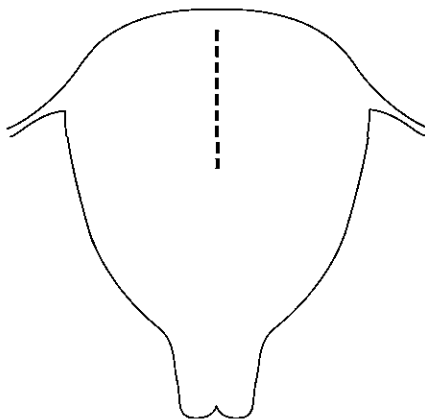
2.



3.



4.



16 23歳の初産婦。妊娠40週2日。陣痛間欠3分、発作50秒。子宮口9cm開大、展退度80%、Station±0。肛門圧迫感はない。胎児心拍モニタリングはreassuringである。全身に力が入り、陣痛発作のたびに大声を上げ、このような陣痛がいつまで続くのかと興奮している。

このときの対応で最も適切なのはどれか。

1. 現在の状況が続くと伝える。
2. 産婦が力を抜けるように呼吸をリードする。
3. 産痛がつかなくても大声を出さないよう声をかける。
4. どのような分娩にしたいか本人の考えを確認する。

17 分娩第1期加速期の初産婦。呼吸が速くなり、呼吸困難感と指のしびれを訴えている。経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂)98%。

考えられるのはどれか。

1. 貧血
2. 肺塞栓
3. 肺水腫
4. 過換気症候群

18 肩甲難産時の対応で適切なのはどれか。

1. 会陰切開は行わない。
2. ファイトスメリー法を実施する。
3. クリステレル胎児圧出法を実施する。
4. 産婦に大腿を腹部に引き寄せる体位をとらせる。

19 吸引遂娩術で正しいのはどれか。

1. 陣痛間欠時に牽引する。
2. 吸引カップは大泉門に装着する。
3. 吸引カップは肩甲娩出後に除去する。
4. 後頭結節が恥骨下縁を通過したら牽引方向を上方に向ける。

20 産褥 5 日の非授乳婦への受胎調節指導で正しいのはどれか。

1. 避妊は月経発来後から必要になる。
2. 低用量経口避妊薬は使用可能である。
3. IUD は産褥 3 週から使用可能である。
4. 産後の月経発来は産後 3 か月以降である。

21 30 歳の初産婦。妊娠 36 週で 2,500 g の児を出産した。妊娠中、児の異常については何も指摘されていなかった。分娩介助をした助産師が、出生後すぐに口蓋裂を発見した。アプガースコアは 1 分後 9 点であった。

口蓋裂について両親に説明する時期として適切なのはどれか。

1. 分娩直後のなるべく早期に説明する。
2. 出生時の処置後、児との面会時に説明する。
3. 小児科医による一般的な児の診察後に説明する。
4. NICU に入院させて全身の精密検査後に説明する。

22 正期産で出生した新生児の生後 12 時間の所見で、すぐに小児科医による診察が必要なのはどれか。

1. 排尿がみられない。
2. 排便がみられない。
3. 肉眼的に黄疸がみられる。
4. 羊水様の嘔吐が数回みられる。

23 生後 3 日の新生児。在胎 39 週 0 日、3,000 g で出生した。体重は 2,790 g で昨日よりも体重が増加している。体温 37.0℃。呼吸数 50 /分。心拍数 120 /分。血清総ビリルビン 18 mg/dl。

アセスメントで正しいのはどれか。

1. 正常な経過
2. 呼吸障害
3. 体重増加不良
4. 血清総ビリルビン高値

24 平成 20 年の母子保健統計で正しいのはどれか。

1. 人工死産率よりも自然死産率の方が高い。
2. 人工妊娠中絶数は前年と比べて増加している。
3. 低出生体重児の出生割合は全出生数の約 1 割である。
4. 妊産婦死亡の原因は間接産科的死亡が半数以上である。

- 25 母子保健法における新生児の訪問指導で正しいのはどれか。
1. 褥婦の健康診査も含まれる。
 2. 都道府県が主体となっていく。
 3. 訪問者は助産師でなければならない。
 4. 新生児期を過ぎた後も訪問を継続できる。
- 26 開業助産師が請求できる分娩費用の設定で正しいのはどれか。
1. 出産育児一時金の範囲とする。
 2. 分娩所要時間によって設定できる。
 3. 医科診療報酬点数表に記載されている。
 4. 産科医療補償制度の保険料は加算できない。
- 27 助産所の管理で医療法に規定されているのはどれか。
1. 嘱託の産科医師を管理者とする。
 2. 入所可能な人数は9名以下とする。
 3. 分娩室の床面積は4.3平方メートルとする。
 4. 助産所開設後14日以内に開設届を都道府県知事に提出する。

28 早産児の退院後のフォローアップ外来で、修正月齢よりも暦月齢に基づいて判断するのはどれか。

1. 神経発達の状況
2. 身長が増加状況
3. 体重が増加状況
4. 離乳食の開始時期
5. 予防接種の開始時期

29 更年期障害に対するホルモン補充療法の禁忌はどれか。2つ選べ。

1. 子宮筋腫
2. 子宮体癌
3. 脂質異常症
4. 血栓症の既往
5. アルツハイマー型認知症

30 胎児の器官形成で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 妊娠5週ころまでに耳が形成される。
2. 妊娠5週ころまでは中枢神経系の奇形感受性が高い。
3. 妊娠16週ころまでは体幹の屈曲運動は観察されない。
4. 妊娠24週では肺胞は形成されていない。
5. 妊娠28週ころから胎児の皮膚の角化は進行する。

31 分娩第1期の産婦に付き添っている夫。産婦は夫と一緒にいることを心強いと感じている。次第に陣痛が強くなり顔をしかめ、口数が少なくなっている産婦に、夫は戸惑いの表情を浮かべている。

夫への援助で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 陣痛室から退室してもらう。
2. 分娩経過に伴う産婦の変化を説明する。
3. 積極的に産婦と会話をするように促す。
4. 2人で出産を乗り切れるように助産師は席を外す。
5. 夫が居てくれて心強いと感じている産婦の気持ちを代弁する。

32 化膿性乳腺炎で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 初産婦に好発する。
2. 片側性には発症しない。
3. 産褥1週以内に発症する。
4. 乳房の熱感はあるが全身の発熱はない。
5. 起炎菌の大部分は黄色ブドウ球菌とレンサ球菌である。

33 母性健康管理指導事項連絡カードで標準措置が「休業」とされるのはどれか。

2つ選べ。

1. 妊娠悪阻
2. Hb 9.7 g/dl
3. 重症の膀胱炎
4. 軽症の妊娠浮腫
5. 尿蛋白 < 1,000 mg/日

34 35歳の初産婦。産褥3日。「抱っこにも慣れ、赤ちゃんは上手におっぱいを吸ってくれるけど、母乳が出るか不安です。そのせいでしょうか、出産後、涙もろくなった気がします」と話す。不眠、疲労の訴えはない。

褥婦への対応で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 「授乳が上手になりましたね」
2. 「精神科を受診してみてもいいですか」
3. 「新生児室でお子さんを預かりましょう」
4. 「楽しいことだけを考えるようにしましょう」
5. 「産後には一時的に涙もろくなることがありますよ」

35 出産育児一時金で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 支給には所得制限がある。
2. 妊娠12週以降の死産は支給される。
3. 単胎・多胎にかかわらず同額支給される。
4. 出産費用にかかわらず定額で支給される。
5. 出産前42日から出産後56日の間で支給される。

次の文を読み 36～38 の問いに答えよ。

32 歳の経産婦。妊娠 28 週 3 日。1 時間に 3、4 回の子宮収縮を訴えて入院した。入院時内診所見は子宮口 3 cm 開大、展退度 30 %、Station -3 以上、胎胞が膨隆している。腔分泌物で BTB は青変せず、胎児性フィブロネクチン陰性。白血球 8,000 / μ l。CRP 0.3 mg/dl。

36 40 分間床上安静にしたが、子宮収縮が治まらないため、リトドリン塩酸塩点滴静脈内注射を開始することとなった。

開始時の投与速度で正しいのはどれか。

1. 0.5 μ g/分
2. 5 μ g/分
3. 50 μ g/分
4. 500 μ g/分

37 妊娠 28 週 6 日。「心臓がドキドキしてつらい」と訴える。母体の脈拍数は 124 /分。胎胞は膨隆したままで、子宮収縮は完全には消失していない。子宮口 4 cm 開大、展退度 40 %、Station -3 以上。白血球 7,800 / μ l。CRP 0.2 mg/dl。

この時点で選択されるべき治療法はどれか。2 つ選べ。

1. β 遮断薬経口内服
2. カルシウム拮抗薬内服
3. グルココルチコイド筋肉内注射
4. 硫酸マグネシウム点滴静脈内注射
5. プロスタグランジン $F_{2\alpha}$ 点滴静脈内注射

38 妊娠 29 週 3 日。38 °C 台の発熱を認め、抗菌薬を投与したが解熱せず、翌日に破水した。内診所見は子宮口 3 cm 開大、展退度 40 %、Station -3。白血球 15,000 / μ l。CRP 8.2 mg/dl。

この時点で選択されるべき治療法はどれか。

1. 帝王切開
2. 子宮頸管縫縮術
3. メトロイリントエル挿入
4. オキシトシン点滴静脈内注射

次の文を読み 39～41 の問いに答えよ。

36歳の初産婦。妊娠32週3日の妊婦健康診査までは血圧、尿検査ともに異常を認めなかった。妊娠34週3日。妊婦健康診査時に下肢のむくみを訴えた。血圧164/98 mmHg。尿蛋白2+、尿糖(-)。下腿浮腫2+。

39 翌日、血圧管理を目的に入院し、安静によって血圧は142/88 mmHgまで低下した。尿蛋白2.5 g/日。

診断名はどれか。

1. 妊娠高血圧
2. 妊娠蛋白尿
3. 妊娠高血圧腎症
4. 加重型妊娠高血圧腎症

40 その後も血圧は安定していたので入院のまま経過を観察した。妊娠37週2日。突然、全身性のけいれん発作をきたし、血圧は182/116 mmHgまで上昇した。

まず行うべき処置はどれか。

1. 気道確保
2. 酸素投与
3. ジアゼパム静脈内注射
4. 硫酸マグネシウム静脈内注射

41 3分ほどでけいれん発作は治まったが、昏睡状態である。

ケアで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 口腔内吸引は避ける。
2. ベッド柵を高くする。
3. 部屋はできるだけ明るくしておく。
4. 舌圧子を口腔内の奥まで挿入しておく。
5. 留置カテーテルを挿入して尿量を測定する。

次の文を読み 42～44 の問いに答えよ。

35歳の初産婦。妊娠37週2日。身長160cm、体重65kg(非妊時60kg)。妊娠24週時の50g経口ブドウ糖負荷試験で1時間値が145mg/dlであった。その後の75g経口ブドウ糖負荷試験の結果、妊娠糖尿病と診断された。妊娠中は自己血糖測定と食事療法の指導を受け、空腹時血糖は100mg/dl以下で維持できていた。妊娠36週時のNSTはreactiveであった。

42 本日朝7時、陣痛発来にて入院した。「朝5時から10分間隔で陣痛が来ました。朝食は食べてきました」と言う。子宮口2cm開大、展退度60%、位置中、硬度中、Station-2。陣痛間欠5分、発作30秒である。子宮底長は33cm、推定児体重は3,200gである。5%ブドウ糖での輸液が開始された。

この時期の管理で正しいのはどれか。

1. 間食を制限する。
2. インスリンで血糖管理を行う。
3. 胎児心拍モニタリングを間欠的に行う。
4. 小児科医に胎児の状態を適宜報告する。

43 午前12時、子宮口3cm開大、Station-1。陣痛間欠4分、発作30秒。陣痛発作時に嘔吐している。「気持ち悪い」と、顔をしかめ体をこわばらせている。血圧120/70mmHg。血糖130mg/dl。

この時点で適切な対応はどれか。

1. インスリン静脈内注射を行う。
2. ゼリーやプリンの摂取を促す。
3. 制吐剤の投与を医師に相談する。
4. 陣痛増強に伴う嘔吐なので心配はないと話す。

44 午後 11 時、子宮口全開大となり分娩室に入室した。小泉門は 12 時の方向に触れる。Station +5 であり努責を誘導した。2 時間経過したが児の下降状態に変化が認められない。胎児心拍モニタリングでは基線 130 bpm で細変動を認め、最低値 70 bpm、持続 60～70 秒の一過性徐脈が出現している。

この状況での適切な援助はどれか。

1. 帝王切開の準備をする。
2. 吸引分娩の準備をする。
3. 陣痛促進剤の準備をする。
4. 努責を中止し側臥位をとる。

次の文を読み 45～47 の問いに答えよ。

32歳の2回経産婦。突然「お産になりそうです」と産科外来を受診した。持参した母子健康手帳には1週間が分娩予定日であると記載されている。妊娠初期に2回他院へ行っただけだという。子宮口7cm開大。直ちに分娩監視装置を装着したところ軽度の変動一過性徐脈がみられた。入院から1時間後に児を娩出した。羊水混濁はない。児は啼泣が弱く、多呼吸、陥没呼吸およびチアノーゼを認める。腹部は陥凹している。気道吸引後に100%酸素でマスク換気を行ったところ、児の呼吸状態はさらに悪化した。体重は3,000g前後、顔貌は正常で外表奇形はみられない。

45 この時点で優先される児に対する処置はどれか。

1. 気管挿管
2. アドレナリン投与
3. 末梢静脈路の確保
4. 心マッサージ(胸骨圧迫)

46 児の疾患として最も考えられるのはどれか。

1. 胎便吸引症候群(MAS)
2. 呼吸窮迫症候群(RDS)
3. 先天性横隔膜ヘルニア
4. 先天性チアノーゼ性心疾患

47 産褥 2 日。児は NICU に入室している。褥婦は小児科医師から「赤ちゃんの状態は安定せず予断を許さない」と説明され、「心配でじっとしてられません」と訴えてきた。

この時点での助産師の褥婦への対応で適切なのはどれか。

1. 心配はいらないと話す。
2. 難しい病状だが希望を捨てないように話す。
3. 赤ちゃんのことは小児科医師に聞いてほしいと話す。
4. 妊婦健診を受けていれば、この病気は防げたと話す。
5. 上の子ども達を新生児に直接面会させるよう勧める。

次の文を読み 48～50 の問いに答えよ。

37 歳の女性。妊娠 16 週。助産所での分娩を希望し来院した。夫と 1 歳の男児との 3 人暮らし。助産所では初診時に、質問紙で DV (ドメスティック・バイオレンス) のスクリーニングを実施している。

48 スクリーニングによって DV が疑われたため、話を聞いた。妊婦は「1 か月前に私の帰宅が遅かったときに夫が怒って物を投げつけたり怒鳴ったりしました。そのときは私も子どもも怖くなりましたが、後で夫は『自分が悪かった』と謝り、私にも子どもにもやさしくしてくれました」と話す。

この時点の対応で適切なのはどれか。

1. 「あなたは DV 被害者ですよ」
2. 「彼はこのままやさしくなっていますよ」
3. 「あなたが遅く帰ったことに原因があるとは思いませんか」
4. 「彼が怒鳴った後、やさしくなることがこれまでもありましたか」

49 この助産所では、出産希望者全員が出産準備クラスに参加することになっている。助産師が参加を呼びかけたところ、妊婦は「夫は私にできるだけ外出するなと言うので、妊婦健診以外に外出するのは難しい」と話した。

助産師の対応として適切なのはどれか。

1. 夫に言わずに出産準備クラスに参加するよう促す。
2. 夫を説得して出産準備クラスに参加するよう促す。
3. 2 週後に妊婦健康診査を設定して出産準備クラスの内容を話す。
4. 出産準備クラスに参加しなければこの助産所では出産できないと話す。

50 妊婦健康診査が終了した。帰り際、妊婦は助産師に「実は、1回だけではなく、大声で怒鳴ったり物を投げつけたりすることが続いています。子どもも怯えるようになってきました。でも、子どもには父親が必要だし、夫には私が必要だと思う」と話す。

助産師の対応で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 夫に連絡して暴力をやめるよう話す。
2. 子どもが生まれるまでの我慢であると伝える。
3. すぐに DV シェルターへ避難するよう指示する。
4. 配偶者暴力相談支援センターへの相談を勧める。
5. 地域の保健師に児童虐待の可能性のあることを伝える。